

2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月7日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <https://www.elwsc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 朝倉 尉
 (氏名) 高橋 雄一郎
 TEL 045-624-8111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	423	23.6	64	608.2	64	615.5	53	859.6
2022年3月期第2四半期	342	40.6	9		9		5	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	8.48	
2022年3月期第2四半期	0.88	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	845	664	78.5	105.67
2022年3月期	806	610	75.7	97.19

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 664百万円 2022年3月期 610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	12.3	70	23.8	70	19.1	55	20.9	8.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	6,284,944 株	2022年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	230 株	2022年3月期	230 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,284,714 株	2022年3月期2Q	6,284,714 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスに関わる行動制限の緩和を受けて、国内旅行や外食等の個人消費が拡大し、景気回復を後押ししているものの、急速な円安進行に伴う物価上昇に加えて、半導体を中心とした部品や原材料の供給不足、ウクライナ情勢長期化等の影響により、全体としては景気回復途上の状況です。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、自動車の電動化や産業機器の自動化に向けた需要増加等により、大規模な設備投資が期待されるものの、世界的な半導体供給不足の影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の下、当社では、継続的で安定した事業基盤の構築に向けて、長年培ったストーリーミング技術を基に、要件定義から設計・実装、各種標準規格提案、アプリケーション開発、検証環境構築まで一貫して技術提供可能なエンジニアリング・サービスを展開し、ストーリーミング製品（ソフトウェア製品、システムプラットフォーム製品）を組み合わせた付加価値の高いソリューション提案活動に注力してまいりました。

以上のような取り組みの結果、需要先各社における新規開発プロジェクト受注獲得に繋がり、当第2四半期累計期間の売上高は4億23百万円（前年同四半期比23.6%増加）となりました。損益面では、営業利益は64百万円（前年同四半期比608.2%増加）、経常利益は64百万円（前年同四半期比615.5%増加）となり、四半期純利益は53百万円（前年同四半期比859.6%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、8億45百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加45百万円、仕掛品の減少2百万円等によるものであります。

負債の部は、1億81百万円となり、前事業年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは主に、前受収益の増加5百万円、未払法人税等の減少7百万円、未払金等流動負債のその他の減少13百万円等によるものであります。

純資産の部は、6億64百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加53百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ0百万円増加し、5億92百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は10百万円（前年同四半期比74.7%減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益64百万円（前年同四半期比615.5%増加）、減価償却費7百万円（前年同四半期比29.2%増加）等の増加要因と、売上債権の増加額45百万円（前年同四半期は売上債権の減少額27百万円）、法人税等の支払額17百万円（前年同四半期は法人税等の還付額1百万円）等の減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は7百万円（前年同四半期比584.2%増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5百万円（前年同四半期比2,208.2%増加）等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は2百万円（前年同四半期比2.5%増加）となりました。これは、リース債務の返済による支出2百万円（前年同四半期比2.5%増加）によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月9日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の再拡大や収束時期、それに伴う経済動向には相当程度の不確実性があり、実際の当社業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響を開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	592,058	592,219
受取手形及び売掛金	168,554	213,803
商品及び製品	118	59
仕掛品	9,551	6,554
原材料	26	26
前払費用	3,256	4,922
その他	209	205
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	773,674	817,690
固定資産		
有形固定資産	17,552	15,165
無形固定資産	13,652	11,475
投資その他の資産		
その他	3,384	3,384
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	1,534	1,534
固定資産合計	32,738	28,175
資産合計	806,413	845,866
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,608	35,829
未払法人税等	25,965	18,215
前受収益	26,507	32,350
賞与引当金	30,815	33,179
製品保証引当金	11,070	12,031
その他	53,032	39,226
流動負債合計	180,999	170,831
固定負債		
長期前受収益	3,052	900
退職給付引当金	1,853	1,853
その他	9,691	8,182
固定負債合計	14,598	10,936
負債合計	195,597	181,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△25,064	28,217
自己株式	△117	△117
株主資本合計	610,816	664,098
純資産合計	610,816	664,098
負債純資産合計	806,413	845,866

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
売上高	※1 342,448	423,124
売上原価	189,329	205,470
売上総利益	153,118	217,654
販売費及び一般管理費	※2 144,030	※2 153,289
営業利益	9,088	64,365
営業外収益		
受取利息	2	2
為替差益	17	245
受取手数料	23	25
その他	2	—
営業外収益合計	45	273
営業外費用		
支払利息	110	73
営業外費用合計	110	73
経常利益	9,023	64,565
税引前四半期純利益	9,023	64,565
法人税、住民税及び事業税	3,479	11,290
法人税等調整額	△7	△7
法人税等合計	3,471	11,283
四半期純利益	5,552	53,281

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,023	64,565
減価償却費	5,488	7,093
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,741	2,364
製品保証引当金の増減額（△は減少）	1,002	961
受取利息及び受取配当金	△2	△2
支払利息	110	73
為替差損益（△は益）	△17	△325
売上債権の増減額（△は増加）	27,289	△45,248
棚卸資産の増減額（△は増加）	△24,539	3,055
仕入債務の増減額（△は減少）	2,949	2,221
前払費用の増減額（△は増加）	△953	△1,666
前受収益の増減額（△は減少）	7,272	3,691
未払消費税等の増減額（△は減少）	5,551	△5,724
その他	3,176	△3,835
小計	40,092	27,221
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△110	△73
特別退職金の支払額	△1,282	—
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	1,254	△17,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,956	10,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△232	△5,371
無形固定資産の取得による支出	△916	△2,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,149	△7,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,362	△2,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,362	△2,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	325
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	36,462	160
現金及び現金同等物の期首残高	421,739	592,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 458,201	※ 592,219

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期損益計算書関係）

※1. 売上高の季節的変動

前第2四半期累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

当社では、取引先の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。

当第2四半期累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

該当事項はありません。

※2. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。

	前第2四半期累計期間 （自2021年4月1日 至2021年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自2022年4月1日 至2022年9月30日）
給与手当	36,757千円	37,598千円
賞与引当金繰入額	8,408	9,338
研究開発費	8,786	7,598
減価償却費	2,191	3,668

（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 （自2021年4月1日 至2021年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自2022年4月1日 至2022年9月30日）
現金及び預金勘定	458,201千円	592,219千円
現金及び現金同等物	458,201	592,219